びっくり！消防しょ見学

1 導入

・「早く行きたいなあ」
・2026年11月2日，小学校の社会科見学で青葉消防しょに行った
・今までは…道路を車で走っている時に通りがかりに消防しょを見るくらい
・間近で消防車を見たり、消防しょの中に入ったりできるかもしれない → 楽しみ！
・(どれくらい楽しみか) → いつもより早起き
　いつもより家を早く出た（スキップしながら）

2 消防しょについてから

・クラスのみんなと電車に乗って2駅 → 15分くらい歩くと消防しょについた
・まずは…消火体けん
　↳ 消火きの使い方は学校に置いてある消火きの説明を見て知っていた
　でも、実さいに使うのははじめて
　「うまくできるかな…」ドキドキ
　安全ピンをぬいて、ホースの先たんを、火の絵がかいてある板に向けた。（まるでジェットきのよう）
　「プシュ――――!!」
　レバーをにぎるといきおいよく水が出た
　うまくできてホッとした
　↓
　火事がおきても消すことができそうと思った
・次に…はしご車について勉強した
　↳ 消防士さんにインタビュー
　しくみを教えてもらって、動くところを見せてもらった
　はしご車について これまではしごをのばして火を消すだけだと思っていた
　↳ 高い所にとりのこされた人を助ける役わりもあると知っておどろいた

3 救急車がとつぜん出動したこと

・見学が終わって帰る前のトイレ休けいの時
　「ウー！ウー！」（耳をさくような音の）
　ととつぜんサイレンがなりだした，
・「○○区○○番で急病人発生！」
　と消防しょの中で放送があった。
・放送からすぐに「ピーポーピーポー」と救急車の音が聞こえた。
・社会科の教科書に書いてあったことを思い出した
　ねていても1分で絶対に出動しなければいけない
　↳ 本当だったんだと感心した
・もしぼくが救急たいいんだったら…すぐ出動できないかも…なぜなら着がえや起きるのがおそいから

4 救急たいいんや消防たいいんはすぐ出動しなければいけなかったり、体力がひつような大変なしごと
↳ ぼくは「いつも火を消したり、たて物にとじこめられた人や病人やけが人を助けてくれてありがとう」